

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

協 議 会	PTA役員代表	4名
	地区代表	7名
	・小浜地区	(2)
	・雲浜地区	(1)
	・西津地区	(2)
	・内外海地区	(2)
	学校代表	4名
※地域コーディネーター(3名) 道の駅取締役 会社役員 税理士		

(2) 協議会の内容

○開催予定回数	年3回
○開催予定	6月・12月・2月 ※随時 学校行事、参観日等
○協議内容	・学校経営方針と学校の実態について ・家庭、地域、学校の連携について ・教育活動の支援について ・学校評価について

(3) 協議会における成果と課題

学校経営方針と学校の実態と課題を説明し、家庭、地域、学校の連携について具体的な提案や支援について話し合うことができた。また、コーディネーターとして、実際に授業に参加してもらうことで、生徒の実際の姿を知ってもらい、具体的な提案を得ることができた。

コーディネーターのさらなる活用が今後の課題である。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

ふるさと若狭小浜の魅力を県内外にPRするための活動を企画し、地域を巻き込んでその企画を具体化していくことを通して、仲間とともにひとつのことを成し遂げる喜びを味わい、ふるさとに対する誇りと愛着を深める。

(2) 活動の実際

「小浜わくわくショップはじめました」(2学年)

11月の修学旅行実行委員会において、学級別活動をふるさと小浜PRの販売活動に決定。学級ごとに目標と店名、販売場所を決定。販売する名産品は、プロによる講義を参考に各学級で決定。並行して販売促進のための幟旗やチラシ、アンケート葉書も作成。

3月の修学旅行では、1日目に1組-台東区浅草大黒家前商店街(店名:田舎のお土産屋さん)、2組-品川区戸越銀座商店街(店名:おばまーず)、3組-品川区武蔵小山商店街(店名:Sea Peace)、4組-板橋区ハッピーロード大山商店街(店名:小浜わくわくショップ)にて、市商工観光課、道の駅「若狭おばま」より借用の法被を生徒が着用し、約2時間販売PR活動を実施する予定であった。

修学旅行の延期のため、この活動は次年度へ引き継ぐ。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・ゲストティーチャーとして、販売に関する授業のサポートをする。
- ・仕入れから販売まで、流通の専門家として随時相談に応じる。

(4) 特に工夫した事項

- ・事前学習では、地域コーディネーターに特産品や人気商品、仕入れや販売のノウハウなどを教わり、その特長を確認することで、多様な質問に答えられるよう準備をした。
- ・クラスごとに宣伝用チラシ、ポスターや幟旗を作成し、教員や生徒相手に販売の実演練習をするなど、集客の工夫をした。
- ・食後や使用後の感想を得るため、アンケート葉書を購入者に配布し、後日返送してもらうように計画を進めていた。
- ・「学校だより」や「学年だより」を利用して、販売日程や場所を宣伝した。



(5) 成果と課題

ふるさと小浜をPRするために中学生ができることを考える中で、ふるさと学習の中身が意味を持ち、理解が深まった。また、販売活動を計画し当日販売する中で流通の仕組みを知り、商品が手元に届くまでにどれほどの労力や費用が必要かということを実体験する計画であった。

しかし、残念ながら、新型コロナウイルス感染症の影響で修学旅行は来年度に延期になり、東京で販売活動を経験することはできなかった。この学習は、次年度へ引き継ぎ、最終的に、学んだことを小浜PRのための提言としてまとめ、市や地域に発信することで、さらなる社会貢献につなげていく。